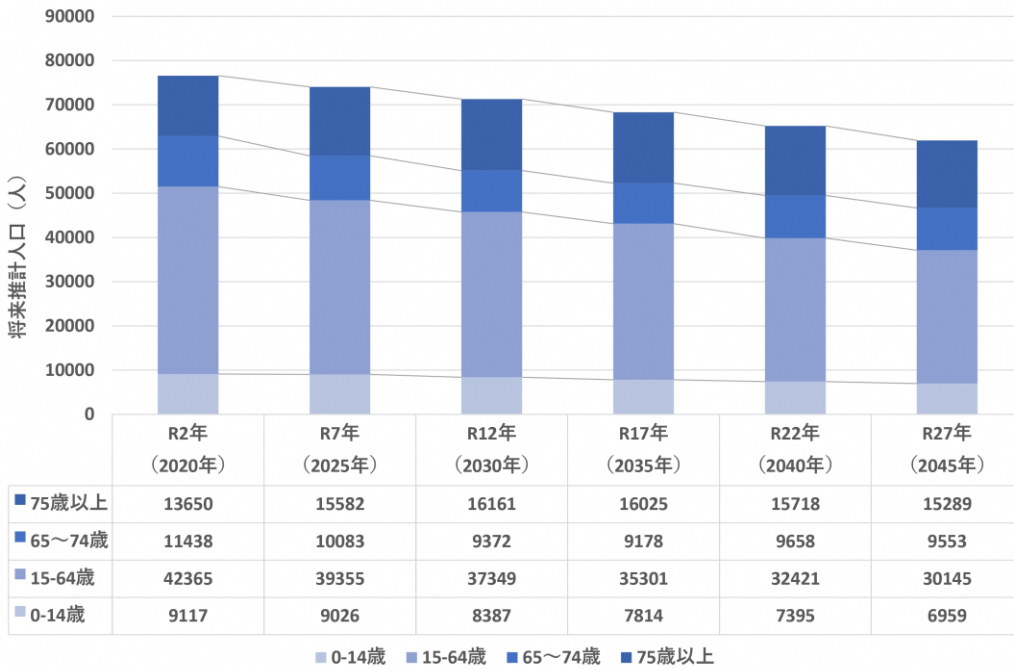
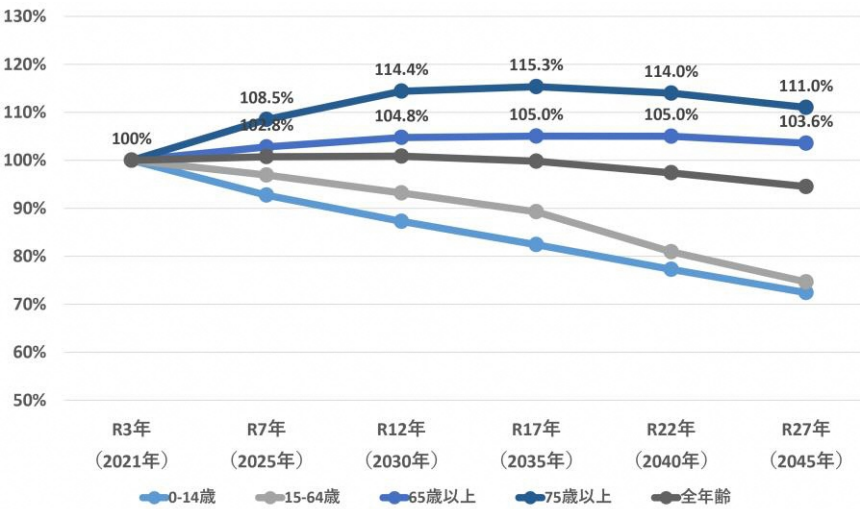


図1 中津川市の推計人口



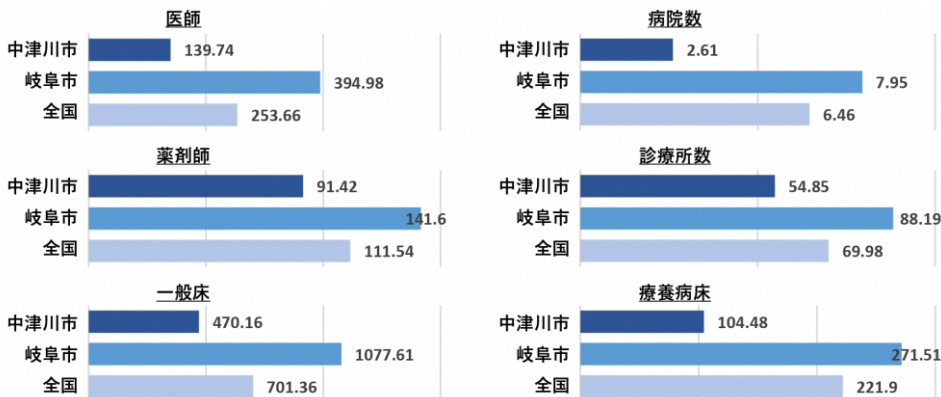
出典：R2年は国勢調査、R7年以降は国立社会保障・人口問題研究所 2018年3月推計

図2 中津川市の医療需要の予測



出典：令和4年度第2回(第3回)岐阜県圏域地域医療構想等調整会議
 <参考資料4-1>人口・患者推計(東濃圏域)

図3 医療機能の比較(人口10万人あたり)



出典：JMAP 地域医療情報システム 2022年11月現在の地域内医療機関情報の集計値

図4 東濃医療圏の患者流出入数

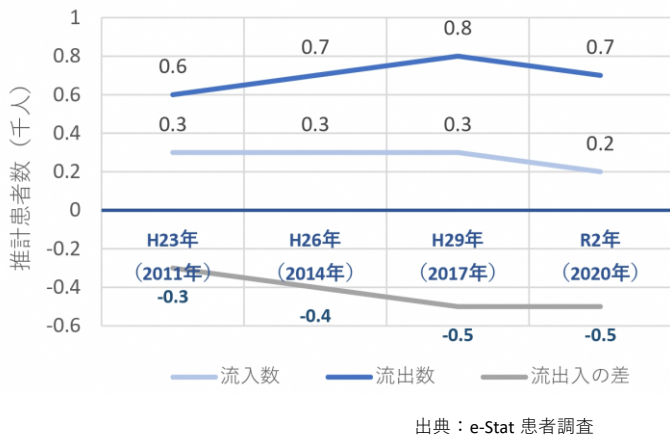


図5 東濃医療圏の患者流出入の割合

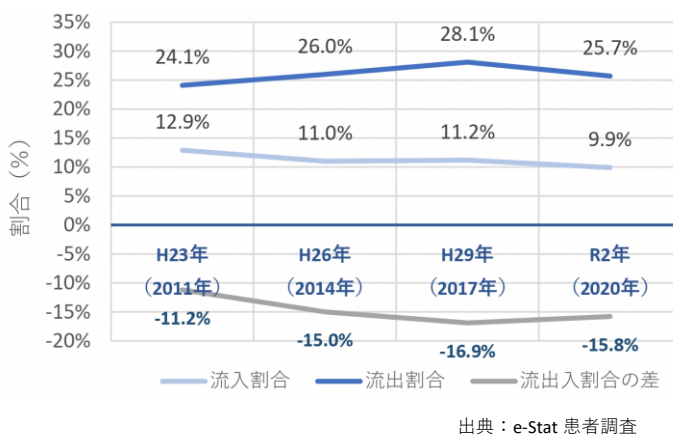


図6 東濃医療圏の一般床の流出数

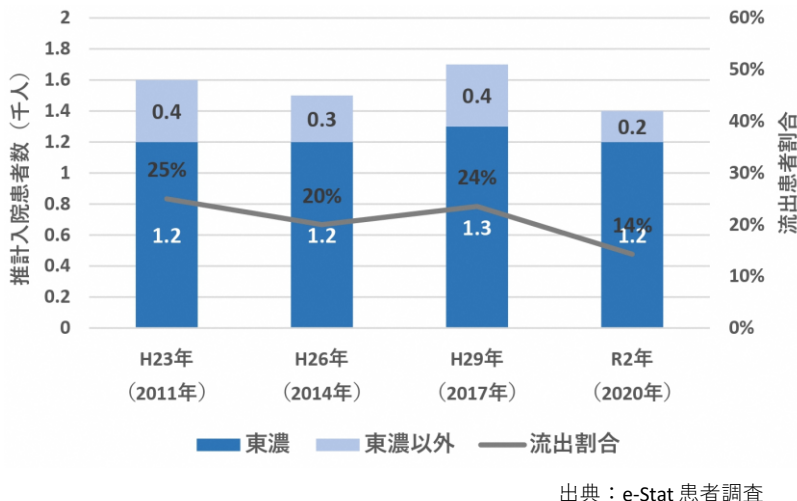
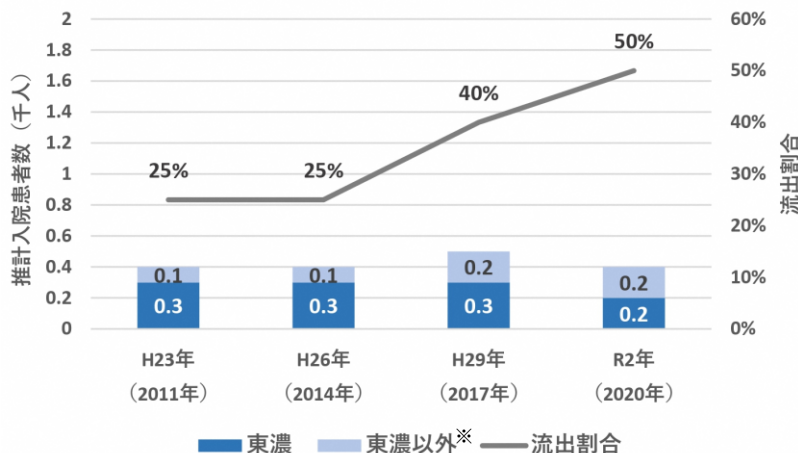


図7 東濃医療圏の療養病床の流出数



※流出の多くは尾張北部医療圏

出典：e-Stat 患者調査

表1 2021年度DPCデータから見た東濃医療圏の患者流出数

医療圏	患者数
東濃	20,326
岐阜	235
西濃	30
中濃	478
飛騨	146
愛知県	5,291
名古屋・尾張中部	(2,535)
海部・尾張東、西、北	(2,535)
他	(221)

() は愛知県の内訳

病床換算

40床
↓
合計214床

↑
174床

患者の流出

6180人
(23%)

病床換算において採用した平均在院日数は岐阜県は出典より16.4日、愛知県は厚生労働省「令和3年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告について」、「(3) 在院日数の状況」における愛知県の病院の中央値12日を採用

出典：岐阜県 令和4年度 DPCデータの分析結果について 患者受療状況

表2 地域医療構想における必要病床数（東濃医療圏）

	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
2022年7月1日時点 (A)	390	1207	410	277	210	2494
2025年 (B)	385	1064	443	277	81*	2250
地域医療構想における必要 病床数 (C)	236	836	653	332		2057
(C) - (B)	149	228	-210	-55		112

※中津川市民病院の44床を含む

出典：令和4年度第2回(第3回)岐阜県圏域地域医療構想等調整会議
 <資料1-2>各医療機関の対応方針について【(2)病床数、医師数等】

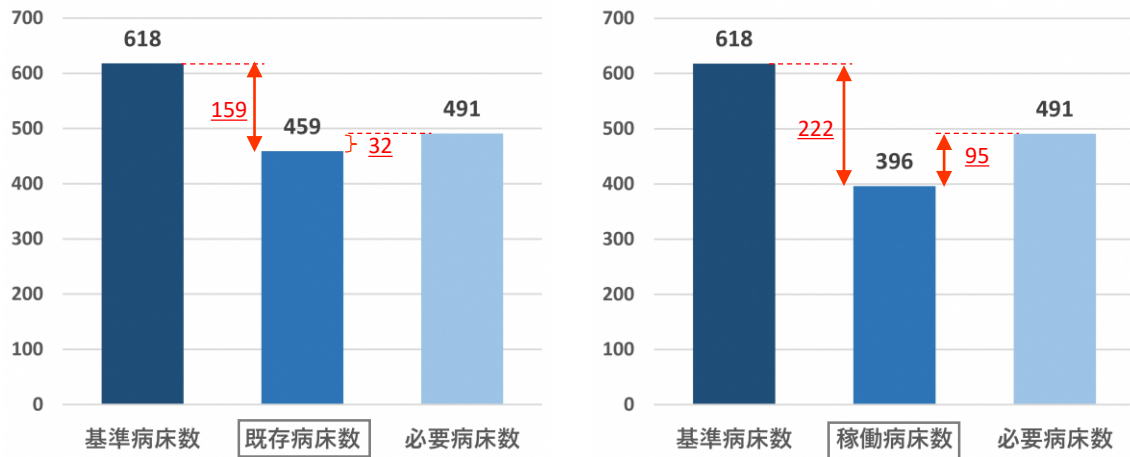
表3 人口で按分したときの東濃医療圏における基準病床数

	2020年 国勢調査人口	割合	合計
多治見市	106,732	33.0%	862
中津川市	76,570	23.7%	618
土岐市	55,348	17.1%	447
恵那市	47,774	14.8%	386
瑞浪市	37,150	11.5%	300
基準病床数			2613

表4 人口で按分したときの東濃医療圏における必要病床数

	2025年 推計人口	割合	必要病床数
多治見市	103,542	33.4%	687
中津川市	74,046	23.9%	491
土岐市	51,828	16.7%	344
恵那市	45,690	14.7%	303
瑞浪市	34,865	11.2%	232
2025年における病床の必要量			2057

図8 中津川市の病床比較



既存病床数 中津川市民病院 360床、城山病院80床、坂下診療所19床
 稼働病床数 中津川市民病院 316床、城山病院80床

表5 人口で按分したときの東濃医療圏における機能別必要病床数

東濃医療圏	2025年 人口推計	割合	病床の必要量を人口で按分				
			高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
多治見市	103,542	33.4%	79	279	218	111	687
中津川市	74,046	23.9%	56	200	156	79	491
土岐市	51,828	16.7%	39	140	109	56	344
恵那市	45,690	14.7%	35	123	96	49	303
瑞浪市	34,865	11.2%	27	94	74	37	232
2025年における病床の必要量 (割合)			236 (11.5%)	836 (40.6%)	653 (31.7%)	332 (16.1%)	2057 100.0%

表6 推測される病床の必要量と中津川市の病床数の比較

	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	計
中津川市の病床の必要数	56	200	156	79		491
中津川市民病院		237	79		44	360
城山病院			40	40		80
坂下診療所				19*		19
中津川市の既存病床数	237		119	59	44	459
中津川市の稼働病床数	237		119	40		396
稼働病床数と必要数との差	-19		-37	-39		-95

※稼働実績がないため稼働病床数には含まない

表7 旧坂下病院の地区別平均入院患者数

		H24年度 (2012年度)	H26年度 (2014年度)	H28年度 (2016年度)	H29年度 (2017年度)	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)
旧中津川市		26.6	33.3	26.8	14.5	7.9	0.1
坂下町近隣		106.1	101.5	94.9	71.6	27.5	1.5
岐阜	坂下町	33.3	29.9	30.1	24.5	12.0	0.6
	福岡町	9.4	8.5	8.2	7.0	2.8	0.2
	付知町	13.7	13.5	7.3	4.9	0.8	0.0
	旧山口村	9.4	8.0	10.0	9.2	3.1	0.3
	川上	5.9	3.9	5.5	4.2	1.8	0.0
長野	南木曾町	24.6	29.7	25.1	15.7	5.5	0.3
	大桑村	9.8	8.0	8.5	6.1	1.5	0.1
他地域		9.8	9.3	7.1	6.3	3.5	0.0
合計		142.5	144.2	128.7	92.4	38.8	1.7

出典：中津川市より提供

表8 坂下診療所（旧坂下病院）の臨床統計

区分		H28年度 (2016年度)	H29年度 (2017年度)	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)
外来	患者延人数	100,557	93,893	83,490	55,547	41,828	46,630	42,527
	平均患者数/day	398	377	345	231	172	193	175
救急	救急車搬入数	352	172	57	-	-	-	-
	救急患者数	1,660	595	410	154	35	29	97
	救急患者入院数	214	101	25	-	-	-	-
透析	透析実施件数	7,812	7,498	6,933	5,979	5,722	4,966	4,996
	透析実人員	53	50	48	41	38	33	33
訪問	診療件数	152	119	144	253	310	355	374
	診療実人数	9	7	10	20	24	27	28
	看護件数	5,588	6,794	6,643	5,508	5,203	4,637	4,518
	看護実人数	138	134	118	94	101	94	85

出典：中津川市より提供

表9 地区別救急搬送数

		H30年 (2018年)	R1年 (2019年)	R2年 (2020年)	R3年 (2021年)	時間的距離	
						中津川市民病院	坂下診療所
中津		1160	1118	1029	1004	6分	20分
苗木		245	226	201	195	7分	23分
坂本		519	551	441	499	9分	25分
落合	② 市民HPより近い	113	95	123	135	14分	11分
阿木		87	91	86	88	28分	43分
神坂	② 市民HPより近い	52	40	36	37	20分	16分
山口	① 隣接	96	80	74	71	20分	4分
坂下	①	172	205	152	194	24分	1分
川上	① 隣接	32	21	29	33	29分	10分
加子母		97	119	96	110	41分	36分
付知町	② 市民HPより近い	234	205	201	260	29分	24分
福岡	隣接、市民HPが近い	287	250	251	259	14分	21分
蛭川		169	132	141	121	22分	39分
中央道		31	25	23	29	—	—
管轄外		4	1	3	3	—	—
中津川市合計		3298	3159	2886	3038	—	—
南木曾	① 隣接	237	203	161	199	35分	15分
大桑村	② 市民HPより近い	175	204	160	175	50分	30分
診療圏 1 (①)		537	509	416	497		
診療圏 2 (①+②)		1111	1053	936	1104		

※各地区の役場から中津川市民病院もしくは坂下診療所までの車での移動時間
 出典：中津川市 消防年報、南木曾、大桑村については木曾広域消防本部より提供

表10 坂下近隣地区における高齢者疾患の必要病床数

表10-1 坂下近隣地区の必要急性期病床数

地区別	人口割合	急性期200床* ×割合
中津	34.7%	69.5床
苗木	8.3%	16.6床
坂本	17.3%	34.7床
落合	4.8%	9.7床
阿木	2.7%	5.5床
神坂	1.6%	3.3床
山口	1.3%	2.5床
坂下	5.6%	11.2床
川上	0.9%	1.9床
加子母	3.4%	6.8床
付知町	7.0%	13.9床
福岡	8.2%	16.3床
蛭川	4.1%	8.2床

15.6床

※表5で按分された中津川市の急性期病床

表10-2 推計患者からみた年代別患者割合（精神科除く）

	①全国推計 患者数	②精神及び行動 の障害	③補正推計患者数 (①-②)	補正推計患者割合 (③/④)
総数	1211.3	351	860.3	④
65歳以上	904.9	133.4	771.5	89.7%
70歳以上	805.5	102.9	702.6	81.7%
75歳以上	663.6	69.8	593.8	69.0%
80歳以上	507.9	44.9	463.0	53.8%

出典：e-Stat 令和2年患者調査
 推計入院患者数、性・年齢階級（5歳）×傷病分類×病院—一般診療所別

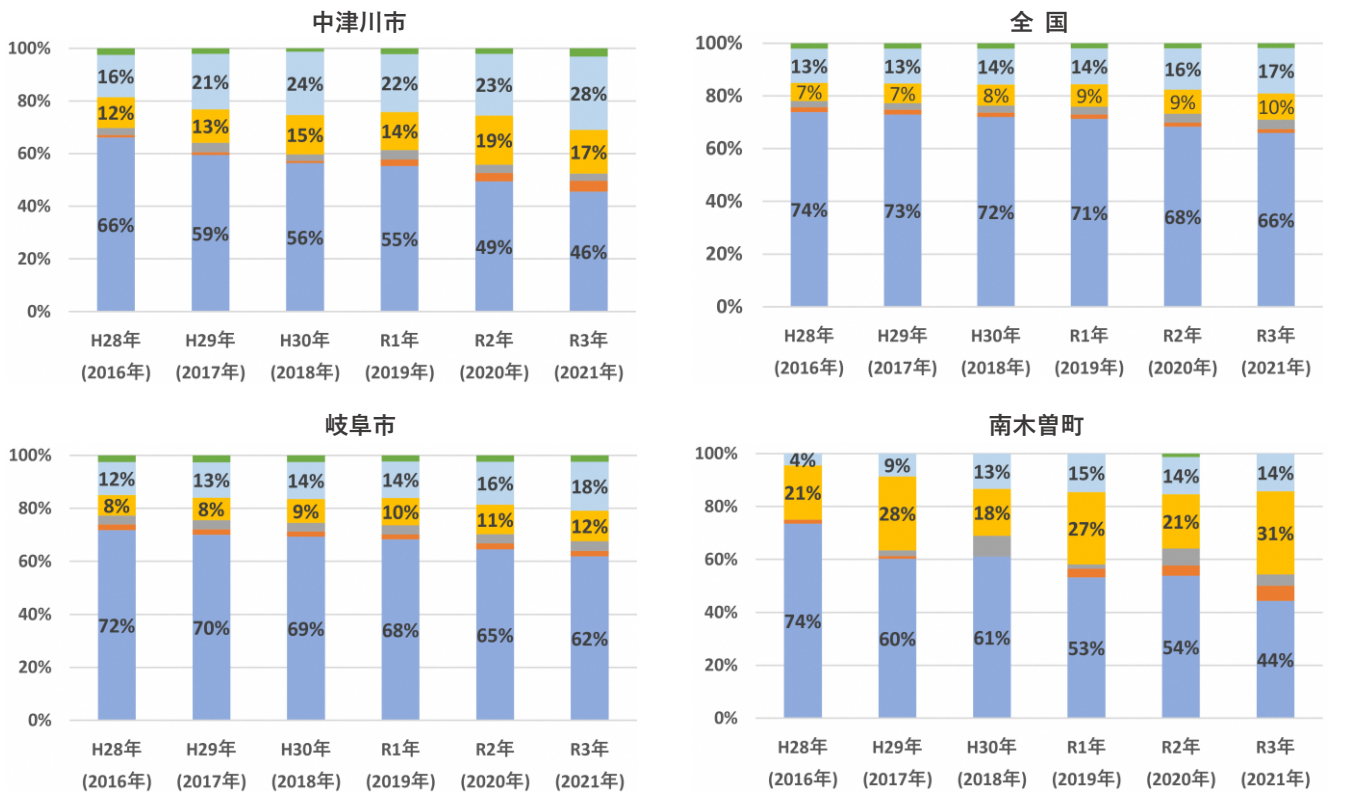
表10-3 高齢者疾患の必要病床数

開設時の想定する医療機能を考慮して80歳以上の8.4床を採用した。

65歳以上	14.0床	75歳以上	10.7床
70歳以上	12.7床	80歳以上	8.4床

$$\text{高齢者疾患の必要病床数} = \text{年代別の補正推計患者割合} \times \text{坂下近隣地区の必要急性期病床数 (15.6床)}$$

図9 死亡の場所別割合

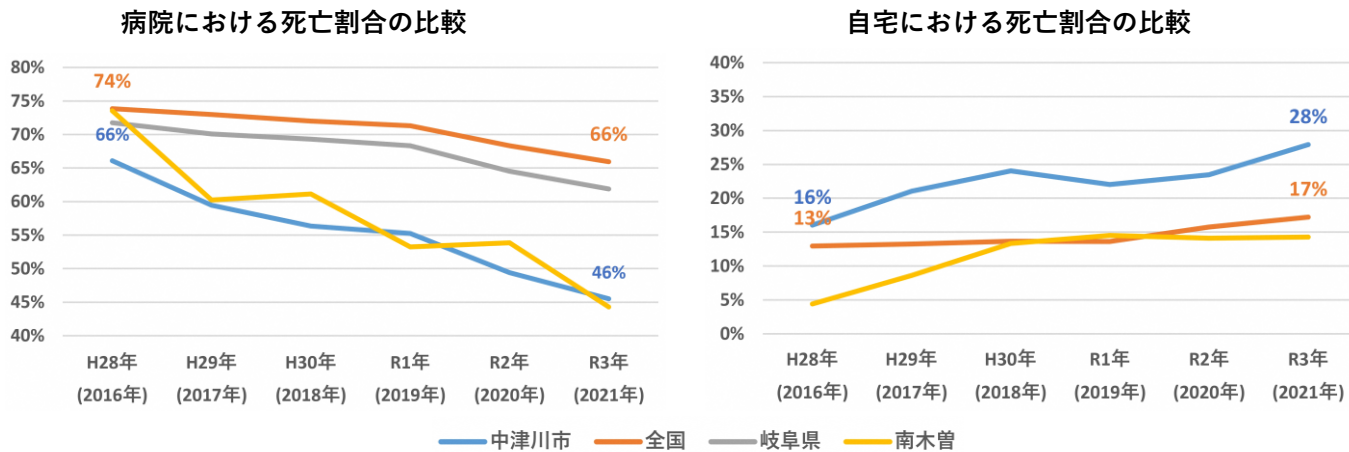


■病院 ■診療所 ■介護医療院・介護老人保健施設 ■老人ホーム ■自宅 ■その他

出典：e-Stat 人口動態調査

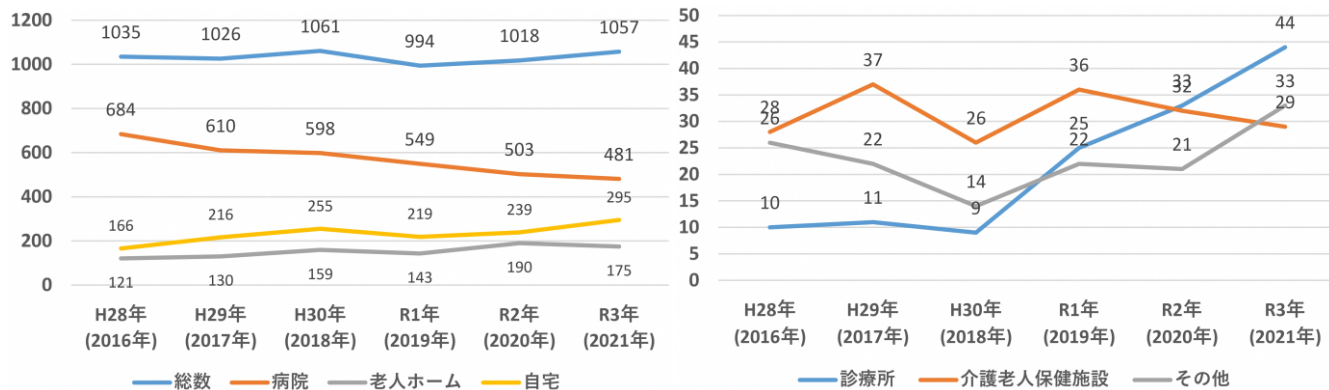
老人ホーム：養護、特別養護、軽費及び有料老人ホーム。 自宅：自宅の他、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅を含む。

図10 死亡の場所別割合の比較



— 中津川市 — 全国 — 岐阜県 — 南木曾

図11 中津川市の死亡の場所の変化



出典：e-Stat 人口動態調査

表11 変更後の東濃医療圏の機能別病床数の比較

		高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
地域医療構想における必要 病床数 (A)		236	836	653	332		2057
再 編	中津川市民病院		237	79		44	360
	坂下診療所				-19		
	(仮)坂下病院			84			84
	城山病院			40	40		80
	合計		237	203	40	44	480
中津川市再編後 2025年 (B) [※]		385	1064	527	258	81	
(B) - (A)		149	228	-126	-74		

※ 令和4年度第2回(第3回)岐阜県圏域地域医療構想等調整会議
 <資料1-2>各医療機関の対応方針について【(2)病床数、医師数等】
 を参考としている。